



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第308号

2017年2月27日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

核兵器禁止条約交渉開始を国連で決議

昨年12月、国連総会で初めて核兵器禁止条約締結の交渉を開始することを求める決議が、賛成113カ国と圧倒的多数で採択されました。核兵器禁止条約が締結されれば、核兵器は人類史上初めて「違法化」となり、「核兵器のない世界」へ扉を開くこととなります。歴史的な一歩といえます。

ところが日本政府は、この決議に「反対」の態度をとりました。唯一の戦争被爆国の政府にあるまじき態度です。日本国民の核廃絶と平和の願いを踏みにじるものです。



「ヒバクシャ国際署名」を広げましょう

核兵器禁止条約の締結は、国際的な世論と運動にかかっています。「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」(「ヒバクシャ国際署名」)が、世界で数億を目標にして始まり広がっています。この運動に世界123カ国が賛同しています。日本でも各地で署名運動が広がり、長野県では県内77市町村長のうち75人が署名に賛同しています(昨年12月末時点)。

八千代では、12月議会で植田議員は「ヒバクシャ国際署名を市庁舎などに置き、市民が署名できるようにする」ことを秋葉市長に提案しました。しかし、まだ回答はありません。3月議会で市長から具体的な回答を求めます。

「平和都市宣言」にふさわしい役割を

八千代市は1987年(昭和62年)に「平和都市宣言」を行いました。宣言では「平和を脅かす核兵器の廃絶と世界の恒久平和の達成のために努力する」と国の内外に発信しています。市は「平和都市宣言」にふさわしい役割を果たしてほしいと思います。

八千代市では「被爆者の会」が小・中学生を対象に被爆体験を語る活動をしています。しかし、語り部の方々は高齢者となっているため「引き継ぐ2世3世の若者たちが育ってほしい。そのためにも広島を訪問することが何より大切です」と話しています。

近隣市では毎年「ヒロシマ」に小・中学生を派遣しています。八千代市も他市同様にヒロシマに派遣し、「平和都市宣言」の実現をめざす若い世代を育てることが求められます。